たのしいことといっぱい。としょかんへいこう！

2021

なつやすみ★おすすめ本
夏によむよむ

5年 6年

東近江市立図書館

八日市（0748-24-1515）
永源寺（0748-27-8050）
五個荘（0748-48-2030）
愛　東（0749-46-2266）
湖　東（0749-45-2300）
能登川（0748-42-7007）
蒲　生（0748-55-5701）

図書館からおすすめの本を集めました。
お気に入りの１冊を見つけてね！

『 スイマー 』

高田由紀子/作　ポプラ社

東京から新潟の佐渡へ転校した航。水泳のメドレーリレーをやろうよ、とクラスメイトに誘われた。使っているプールをつぶされないよう、大会で活躍を見せたいという。

水泳には苦い思い出があって、気の乗らない航だったが……。

『 大あばれ山賊小太郎 』

那須正幹/作　偕成社

時は戦国時代。村を焼かれた小太郎は、忍者のマメ太と少年武士の剣之助といっしょに、山賊の手伝いをすることに。大岩も軽々と持ち上げる怪力を武器に、小太郎はおとうとおっかあの仇である武将を相手に大あばれ！

☆「大あばれ山賊小太郎」のシリーズは全部で３さつあります。

『 ブラックホールの飼い方 』

ミシェル・クエヴァス/作　小学館

11 歳のステラが拾った真っ黒なものの正体は、ブラックホール？！「ラリー」と名前を付けてこっそり飼い始めたステラですが、ラリーがなんでもかんでも飲み込んでしまうから、さあ大変！飲み込まれた子犬を助けるため、ステラはラリーの中に飛び込みます。

『 ゲンバクとよばれた少年 』

中村由一/作　講談社

作者の中村由一さんは小さい時、長崎で被爆しました。「ゲンバク」とよばれていじめられ、さらに生まれた場所による差別を受けて、つらい少年時代を過ごしました。自分の体験を伝えることで、世の中から差別がなくなることを願い、この本を書き上げました。

『 はからはじまるカルシウムのはなし 』

伊沢尚子/作　福音館書店

男の子がぬけた歯を土にうめました。うめられた歯はやがて土になり、そこからカルシウムが飛び出した！根っこから吸い上げられて葉っぱに到着したカルシウムは、カタツムリに食べられて……。さあ、長いなが～い旅が始まります。

『 おじいちゃんとの最後の旅 』

ウルフ・スタルク/作　徳間書店

ちょっと口が悪いけど、いたずら好きのおじいちゃんとぼくは、大のなかよしだ。でも、入院したおじいちゃんはどんどん元気をなくしてしまい見ていられない。

ぼくとおじいちゃんは、こっそり病院を抜け出す計画をたてた。

『 わたしの苦手なあの子 』

朝比奈蓉子/作　ポプラ社

夏休みに出された宿題は、「苦手なものを克服する」というもの。ミヒロの一番の苦手は、不愛想で近寄りにくい転校生のリサだ。リサのある秘密を知ってしまったミヒロは、思いきってリサを克服してみようと決めた。

『 ぼくたち負け組クラブ 』

アンドリュー・クレメンツ/作　講談社

授業中も読んじゃうほど本好きのアレック。両親が働いているから放課後も学校にいるんだけど、クラブに入らなきゃいけない。だったら、読書クラブを作っちゃおう！ だれにもじゃまされないよう、名前は「負け組クラブ」にして……。

『 てっぺんの上 』　イノウエミホコ/作　文研出版

５年生の始業式の日に、エナのお母さんは家を出て行きました。自分のせいだという思いから、家族や友達に素直になれないエナ。そんな時に出会ったレオという男の子が、「最悪なときを乗り切るために山にのぼる」と言って……。

『 ねえさんの青いヒジャブ 』

イブティハージ・ムハンマド＆S・K・アリ/文　ハテム・アリ/絵
BL 出版

新学期の初日、姉さんは買ったばかりの青いヒジャブで学校へ行く。海のような、空のような、真っ青のヒジャブをつけた姉さんはまるでプリンセスのよう。でも 学校につくと、いじのわるい声が聞こえてきた。

＊「ヒジャブ」は、イスラム教徒の女の人が、かみの毛をおおいかくすための布です。

『 ぼくらのサマーキャンプ 』

芝田勝茂/作　国土社

星座教室やロッククライミング、きもだめし大会……。４泊５日のサマーキャンプは楽しいイベントがもりだくさん！そして、勇気を出して自分の「テーマ」に正面からたちむかえば、キャンプの魔法に出会えるんだって。